



**Hewlett Packard  
Enterprise**

## **iLO 5 用 HPE iLO 連携ユーザーガイド**

### **摘要**

このガイドでは、HPE iLO の連携機能の設定と使用の方法について説明します。本書は、iLO 5、HPE ProLiant Gen10 サーバー、および HPE Synergy コンピュートモジュールの設定と使用に関するシステム管理者、Hewlett Packard Enterprise の担当者、および Hewlett Packard Enterprise 認定チャネルパートナーを対象としています。

部品番号: 880724-191  
発行: 2017 年 7 月  
版数: 1

# 目次

<b>iLO 連携</b> .....	<b>6</b>
<b>iLO 連携の構成</b> .....	<b>7</b>
iLO 連携機能を使用するための前提条件.....	7
iLO 連携のネットワーク要件.....	7
一度につき 1 つの iLO システム用にマルチキャストオプションを構成 .....	7
マルチキャストオプション .....	8
iLO 連携グループ.....	8
ローカル iLO システムに対する iLO 連携グループメンバーシップ.....	8
iLO システムのセットに対する iLO 連携グループメンバーシップ.....	9
iLO 連携グループの権限.....	9
iLO 連携グループの特性.....	10
iLO 連携グループメンバーシップを管理する（ローカル iLO システム） .....	10
iLO 連携グループメンバーシップを表示する（ローカル iLO システム） .....	10
iLO 連携グループメンバーシップの追加.....	10
iLO 連携グループメンバーシップの編集.....	11
iLO 連携グループからのローカル iLO システムの削除.....	12
iLO 連携グループメンバーシップの追加（複数の iLO システム） .....	12
既存のグループに基づく、iLO 連携グループの追加.....	12
サーバーのフィルターされたセットからのグループの作成.....	13
グループメンバーシップの変更によって影響を受けるサーバー.....	14
エンクロージャー iLO 連携サポートの設定.....	14
iLO 連携に関するサーバーブレードサポートの確認.....	15
<b>iLO 連携機能の使用</b> .....	<b>16</b>
選択されたグループのリスト.....	16
選択されたグループのリストのフィルター.....	16
選択されたグループのリストのフィルター条件.....	16
iLO 連携情報を CSV ファイルにエクスポートする方法.....	16
iLO 連携情報のエクスポートオプション.....	17
iLO 連携マルチシステムビュー.....	17
サーバーヘルスおよびモデル情報の表示.....	17
クリティカルおよび劣化のステータスを持つサーバーの表示.....	18
iLO 連携マルチシステムマップの表示.....	18
iLO ピアの詳細.....	18
iLO 連携グループの仮想メディア.....	19
グループのスクリプト方式のメディアの接続.....	19
グループのスクリプト方式のメディアのステータス表示.....	20
スクリプト方式のメディアデバイスの取り出し.....	20
グループ仮想メディアの操作の影響を受けるサーバー.....	20
iLO 連携グループ電力.....	20
サーバーグループの電力状態の変更.....	21
仮想電源ボタンのオプション.....	21
仮想電源ボタンによって影響を受けるサーバー.....	22
グループ消費電力上限の構成.....	22
グループ消費電力上限の注意事項.....	22
グループ消費電力上限情報の表示.....	23
iLO 連携グループのファームウェアアップデート.....	24

iLO ファームウェアイメージファイルの入手.....	24
サポートされるサーバーファームウェアイメージファイルの入手.....	25
複数のサーバーのファームウェアの更新.....	25
グループファームウェア情報の表示.....	26
グループのファームウェアアップデートの影響を受けるサーバー.....	26
ライセンスキー iLO のインストール.....	26
ライセンスインストールの影響を受けるサーバー.....	27
ライセンス情報の表示.....	27
iLO ライセンス.....	28

## **iLO 連携での iLO RESTful API の使用..... 29**

## **iLO 連携での RIBCL スクリプトの使用..... 30**

GET_FEDERATION_MULTICAST.....	30
GET_FEDERATION_MULTICAST のパラメーター.....	30
GET_FEDERATION_MULTICAST のランタイムエラー.....	30
GET_FEDERATION_MULTICAST が返すメッセージ.....	30
SET_FEDERATION_MULTICAST.....	31
SET_FEDERATION_MULTICAST のパラメーター.....	31
SET_FEDERATION_MULTICAST のランタイムエラー.....	32
GET_FEDERATION_ALL_GROUPS.....	32
GET_FEDERATION_ALL_GROUPS のパラメーター.....	32
GET_FEDERATION_ALL_GROUPS のランタイムエラー.....	32
GET_FEDERATION_ALL_GROUPS が返すメッセージ.....	32
GET_FEDERATION_ALL_GROUPS_INFO.....	33
GET_FEDERATION_ALL_GROUPS_INFO のパラメーター.....	33
GET_FEDERATION_ALL_GROUPS_INFO のランタイムエラー.....	33
GET_FEDERATION_ALL_GROUPS_INFO が返すメッセージ.....	33
GET_FEDERATION_GROUP.....	34
GET_FEDERATION_GROUP のパラメーター.....	35
GET_FEDERATION_GROUP のランタイムエラー.....	35
GET_FEDERATION_GROUP が返すメッセージ.....	35
ADD_FEDERATION_GROUP.....	36
ADD_FEDERATION_GROUP のパラメーター.....	36
ADD_FEDERATION_GROUP のランタイムエラー.....	37
MOD_FEDERATION_GROUP.....	37
MOD_FEDERATION_GROUP のパラメーター.....	38
MOD_FEDERATION_GROUP のランタイムエラー.....	38
DELETE_FEDERATION_GROUP.....	39
DELETE_FEDERATION_GROUP のパラメーター.....	39
DELETE_FEDERATION_GROUP のランタイムエラー.....	39

## **トラブルシューティング.....40**

iLO 連携ページでクエリエラーが発生する.....	40
iLO のマルチシステムマップページにタイムアウトエラーが表示される.....	40
iLO マルチシステムマップページに 502 エラーが表示される.....	41
iLO マルチシステムマップページに 403 エラーが表示される.....	41
iLO ピアが iLO 連携ページに表示されない.....	41
iLO のピアが、IPv4 ネットワーク上で IPv6 アドレスで表示される.....	42

## **Web サイト.....43**

<b>サポートと他のリソース</b> .....	<b>44</b>
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	44
アップデートへのアクセス.....	44
カスタマーセルフリペア (CSR) .....	45
リモートサポート (HPE 通報サービス) .....	45
保証情報.....	45
規定に関する情報.....	45
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	46

## ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品、およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。Hewlett Packard Enterprise は本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から許諾を得る必要があります。米国政府の連邦調達規則である FAR 12.211 および 12.212 の規定に従って、コマーシャルコンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーションおよびコマーシャルアイテムのテクニカルデータ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダーが提供する標準使用許諾規定に基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクを使用すると、Hewlett Packard Enterprise Web サイト外に移動します。Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報は Hewlett Packard Enterprise の管理対象外であり、それらの情報について責任を負いかねますのでご了承ください。

## 商標

Microsoft® および Windows® は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Java® および Oracle® は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

Google™ は、Google Inc. の商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

SD は SD-3C の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

VMware® は、VMware, Inc. の米国および各国での登録商標または商標です。

# iLO 連携

iLO 連携では、iLO Web インターフェイスを使用して、1つのシステムから複数のサーバーを管理できます。

iLO 連携が構成されている場合、iLO はマルチキャスト検出およびピアツーピア通信を使用して、iLO 連携グループ内のシステム間の通信を可能にします。

iLO 連携ページがロードされると、Web インターフェイスを実行する iLO システムから iLO のピアへ、そしてそれらのピアから他のピアへ、選択した iLO 連携グループのすべてのデータが取得されるまでデータリクエストが送信されます。

iLO は次の機能をサポートします。

- グループのヘルスステータス - サーバーのヘルス情報とモデル情報を表示します。
- グループ仮想メディア - iLO 連携グループ内のサーバーからアクセスできるスクリプト方式のメディアに接続します。
- グループ電力制御 - iLO 連携グループ内のサーバーの電源ステータスを管理します。
- グループ消費電力上限 - iLO 連携グループ内のサーバーに消費電力上限を動的に設定します。
- グループファームウェアアップデート - iLO 連携グループ内のサーバーのファームウェアを更新します。
- グループライセンスのインストール - ライセンスキーを入力して、iLO 連携グループ内のサーバー上でライセンス済みの iLO 機能を有効にします。
- グループ構成 - 複数の iLO システムに対する iLO 連携グループメンバーシップを追加します。

どのユーザーも iLO 連携ページの情報を表示できますが、次の機能を使用するにはライセンスが必要です。グループ仮想メディア、グループ電源制御、グループ消費電力上限、グループ構成、およびグループファームウェアアップデート。詳しくは、次の Web サイトを参照してください。 <http://www.hpe.com/info/ilo-licensing-ja>

# iLO 連携の構成

## iLO 連携機能を使用するための前提条件

### 手順

- **ネットワーク構成が iLO 連携の要件を満たす。**
- **iLO 連携グループに追加される各 iLO システムで、マルチキャストオプションが構成されている。**  
デフォルトのマルチキャストオプションの値を使用する場合、構成は不要です。
- **iLO 連携のグループメンバーシップが構成されている。**  
すべての iLO システムが、自動的に **DEFAULT** グループに追加されます。
- iLO 連携のエンクロージャーサポートが Onboard Administrator ソフトウェア (ProLiant サーバードライブのみ) で構成されている。  
この設定は、デフォルトで有効になっています。

## iLO 連携のネットワーク要件

- iLO 連携で使用されるサーバーは、iLO 専用のネットワークポート構成を使用する必要があります。iLO 連携の機能は iLO 共有ネットワークポート構成では使用できません。
- オプション: iLO 連携は、IPv4 と IPv6 の両方をサポートしています。有効な構成が両方のオプションにある場合、IPv6 ではなく IPv4 を使用するように iLO を構成できます。この設定を構成するには、**iLO 専用ネットワークポート - IPv6 設定** ページの **iLO クライアントアプリケーションは IPv6 を最初に使用** チェックボックスをクリアします。
- 複数の場所にある iLO システムを管理する場合は、マルチキャストトラフィックを転送するようにネットワークを設定します。
- ネットワーク内のスイッチにマルチキャストトラフィックを有効または無効にするためのオプションが含まれている場合は、有効になっていることを確認します。この構成は、iLO 連携と他の Hewlett Packard Enterprise 製品が、ネットワーク上で iLO システムを検出するために必要です。
- レイヤー 3 スイッチで分断されている iLO システムの場合は、ネットワーク間で SSDP マルチキャストトラフィックを転送するようにスイッチを構成する必要があります。
- iLO システム間のマルチキャストトラフィック (UDP ポート 1900) と直接 HTTP (TCP のデフォルトポート 80) 通信を許可するようにネットワークを構成します。
- 複数の VLAN を持つネットワークの場合、VLAN 間でマルチキャストトラフィックを許可するようにスイッチを構成します。
- レイヤー 3 スイッチを使用したネットワーク:
  - IPv4 ネットワークの場合: スイッチの PIM を有効にし、PIM デンスモードに設定します。
  - IPv6 ネットワークの場合: スイッチを MLD スヌーピングに設定します。

## 一度につき 1 つの iLO システム用にマルチキャストオプションを構成

以下の手順を実行して、iLO 連携グループに追加される各 iLO システムのマルチキャストオプションを構成する必要があります。デフォルト値を使用する場合は、構成の必要はありません。

複数の iLO システムに対して、iLO RESTful API または RIBCL スクリプトを使用してマルチキャストオプションを表示および構成できます。

### 始める前に

iLO 設定の構成権限

## 手順

1. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックします。

セットアップタブが表示されます。

2. **iLO 連携管理** には、**有効** または **無効** を選択します。
3. **マルチキャスト検出** には、**有効** または **無効** を選択します。
4. **マルチキャストアナウンスメント間隔 (秒/分)** の値を入力します。
5. **IPv6 マルチキャストスコープ** の値を選択します。

マルチキャスト検出が正しく機能するようにするため、**IPv6 マルチキャストスコープ** に、同じグループ内のすべての iLO システムで同じ値を使用していることを確認してください。

6. **マルチキャスト Time To Live (TTL)** の値を入力します。

マルチキャスト検出が正しく機能するようにするため、**マルチキャスト Time To Live (TTL)** に、同じグループ内のすべての iLO システムで同じ値を使用していることを確認してください。

7. **適用** をクリックします。

ネットワークが変更され、このページで行った変更は、次のマルチキャスト通知後に有効となります。

## マルチキャストオプション

- **iLO 連携管理** - iLO 連携機能を有効または無効にします。デフォルト設定は、**有効** です。**無効** を選択すると、ローカル iLO システムに対する iLO 連携機能が無効になります。
- **マルチキャスト検出** - マルチキャスト検出を有効または無効にします。デフォルト設定は、**有効** です。**無効** を選択すると、ローカル iLO システムに対する iLO 連携機能が無効になります。

Synergy コンピュートモジュールでは、マルチキャスト検出を無効にすることはできません。Synergy コンピュートモジュールで、ネットワーク上のマルチキャストトラフィックの影響を制限するには、**IPv6 マルチキャストスコープ** および **マルチキャスト Time To Live (TTL)** の設定を調整します。

- **マルチキャストアナウンスメント間隔 (秒/分)** - iLO システムがネットワーク上で自身を通知する頻度を設定します。各マルチキャスト通知は約 300 バイトです。30 秒から 30 分の値を選択します。デフォルト値は 10 分です。

**無効** を選択すると、ローカル iLO システムに対する iLO 連携機能が無効になります。

- **IPv6 マルチキャストスコープ** - マルチキャストトラフィックを送受信するネットワークの規模です。有効な値は、**リンク**、**サイト**、および **組織** です。デフォルト値は **サイト** です。
- **マルチキャスト Time To Live (TTL)** - マルチキャスト検出が停止する前に通過できるスイッチの数を指定します。デフォルト値は 5 です。

## iLO 連携グループ

### ローカル iLO システムに対する iLO 連携グループメンバーシップ

ローカル iLO システムにグループメンバーシップを構成する場合、グループのメンバーがローカルの管理対象サーバーを構成するために所有する権限を指定する必要があります。

たとえば、ローカル iLO システムを **group1** に追加し、「仮想電源およびリセット」権限を割り当てた場合、**group1** の他の iLO システムのユーザーは管理対象サーバーの電力状態を変更できます。

ローカル iLO システムが「仮想電源およびリセット」権限を **group1** に認めていない場合は、**group1** の他の iLO システムのユーザーはグループの電力制御機能を使用して管理対象サーバーの電力状態を変更することはできません。

ローカル iLO システム上で iLO セキュリティを無効にするようシステムメンテナンススイッチが設定されている場合、**group1** の他の iLO システムのユーザーは、割り当てられたグループ権限とは無関係に、管理対象サーバーの状態を変更できます。

ローカル iLO システムに対するグループメンバーシップは、**iLO 連携** ページの **セットアップ** タブで構成します。



ローカル iLO システムに対して、以下のタスクを実行できます。

- グループメンバーシップの表示。
- グループメンバーシップの追加と編集。
- グループメンバーシップの削除。

詳しくは

[iLO 連携グループメンバーシップの追加\(10 ページ\)](#)

[iLO 連携グループメンバーシップの編集\(11 ページ\)](#)

[iLO 連携グループからのローカル iLO システムの削除\(12 ページ\)](#)

## iLO システムのセットに対する iLO 連携グループメンバーシップ

複数の iLO システムに対するグループメンバーシップを一度に追加する場合、グループのメンバーがグループの他のメンバーを構成するために所有する権限を指定する必要があります。

たとえば、DEFAULT グループに基づいて **group2** を構成し、「仮想電源およびリセット」権限を割り当てた場合、**group2** の iLO システムのユーザーはグループ内のすべてのサーバーの電力状態を変更できます。

グループ構成ページで、複数の iLO システムに対してグループメンバーシップを追加できます。

iLO システムのグループに対して、以下のタスクを実行できます。

- 既存のグループとメンバーは同じだが、権限が異なるグループを作成します。
- iLO 連携フィルターを使用して選択したメンバーを含むグループを作成します。

詳しくは

[iLO 連携グループメンバーシップの追加 \(複数の iLO システム\) \(12 ページ\)](#)











[既存のグループに基づく、iLO 連携グループの追加\(12 ページ\)](#)

[サーバーのフィルターされたセットからのグループの作成\(13 ページ\)](#)

[グループメンバーシップの変更によって影響を受けるサーバー\(14 ページ\)](#)

## iLO 連携グループの権限

iLO システムがグループに追加されると、グループに以下の権限を付与することができます。

-  ログイン - グループのメンバーは、iLO にログインできます。
-  リモートコンソール - グループのメンバーは、ビデオ、キーボード、マウスの制御を含めて、管理対象サーバーのリモートコンソールにリモートにアクセスできます。
-  仮想電源およびリセット - グループのメンバーは、ホストシステムの電源再投入やリセットを実行できます。これらの操作はシステムの可用性を中断します。
-  仮想メディア - グループのメンバーは、管理対象サーバーでスクリプト方式の仮想メディアを使用できます。
-  ホスト BIOS 構成 - グループのメンバーは、UEFI システムユーティリティを使用してホスト BIOS 設定を構成できます。
-  iLO 設定を構成 - グループのメンバーは、セキュリティ設定を含むほとんどの iLO 設定を行い、リモートでファームウェアを更新することができます。
-  ユーザーアカウント管理 - グループのメンバーは、iLO ユーザーアカウントを追加、編集、および削除できます。
-  ホスト NIC 構成 - グループのメンバーはホスト NIC 設定を構成できます。
-  ホストストレージ構成 - グループのメンバーは、ホストストレージ設定を構成できます。
-  リカバリセット - グループのメンバーはリカバリインストールセットを管理できます。

セッションを開始したときにシステムメンテナンススイッチが iLO セキュリティを無効にするように設定されている場合、この権限を使用できません。

## iLO 連携グループの特性

- すべての iLO システムは **DEFAULT** グループに自動的に追加され、このグループにはそれぞれのグループメンバーのログイン権限が認められています。 **DEFAULT** グループメンバーシップは編集することも削除することもできます。
- iLO 連携グループは、一部共通することも、複数のラックおよびデータセンターにまたがることもできます。また、管理ドメインの作成に使用することもできます。
- iLO システムは最大で 10 の iLO 連携グループのメンバーとすることができます。
- グループの中にある iLO システムの数に制限はありません。
- グループメンバーシップを構成するには、iLO の設定の構成が必要です。
- iLO Web インターフェイスを使用して、ローカル iLO システムまたは iLO システムのグループに対してグループメンバーシップを構成することができます。
- RIBCL XML スクリプトを使用してグループメンバーシップを表示および構成できます。

詳しくは、iLO 連携ユーザーガイドを参照してください。

- iLO RESTful API を使用してグループメンバーシップを構成できます。

詳しくは、次の Web サイトにある iLO RESTful API のドキュメントを参照してください。 <http://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs>

- Hewlett Packard Enterprise は、同じ iLO 連携グループ内の iLO システムには、同じバージョンの iLO ファームウェアをインストールすることをおすすめします。

## iLO 連携グループメンバーシップを管理する（ローカル iLO システム）

### iLO 連携グループメンバーシップを表示する（ローカル iLO システム）

#### 手順

1. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックします。

グループに関する情報を表示するのに RIBCL スクリプトを使用することもできます。詳しくは、iLO 連携ユーザーガイドを参照してください。

この iLO のグループメンバーシップテーブルには、ローカル iLO システムを含む各グループの名前と、ローカル iLO システムによってそのグループに与えられている権限が示されます。

詳しくは

[iLO 連携グループの権限\(9 ページ\)](#)

### iLO 連携グループメンバーシップの追加

#### 始める前に

iLO 設定の構成権限

#### 手順

1. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックします。

セットアップタブが表示されます。

2. **グループへの参加** をクリックします。
3. 次の情報を入力します。

- **グループ名** - グループ名は 1~31 文字で指定できます。
- **グループキー** - グループのパスワードは、設定されている最小パスワード長~31 文字で指定できます。
- **グループキーの確認** - グループのパスワードの確認。

既存のグループの名前とキーを入力すると、ローカル iLO システムがそのグループに追加されます。存在しないグループの名前とキーを入力すると、グループが作成され、ローカル iLO システムが新しいグループに追加されます。

4. 次の権限のいずれかを選択します。

- ログイン
- リモートコンソール
- 仮想電源およびリセット
- 仮想メディア
- ホスト BIOS
- iLO 設定の構成
- ユーザーアカウント管理
- ホスト NIC
- ホストストレージ
- リカバリセット

ローカル iLO システムによりグループに付与される権限は、管理対象サーバーで、グループ内の他の iLO システムのユーザーが実行できるタスクを制御します。

5. **グループへの参加**をクリックします。

詳しくは

[ローカル iLO システムに対する iLO 連携グループメンバーシップ\(8 ページ\)](#)

[iLO 連携グループの権限\(9 ページ\)](#)

## iLO 連携グループメンバーシップの編集

始める前に

iLO の設定の構成

手順

1. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックします。

セットアップタブにローカル iLO システムの既存のグループメンバーシップが表示されます。

2. グループメンバーシップを選択して、**編集** をクリックします。

3. グループ名を変更するには、**グループ名** ボックスに新しい名前を入力します。

グループ名は、1~31 文字で指定できます。

4. グループキーを変更するには、**グループキーの変更** チェックボックスを選択して、**グループキー** および **グループキーの確認** ボックスに新しい値を入力します。

グループキーは、設定されている最小パスワード長~31 文字で指定できます。

5. 更新する権限のチェックボックスをオンまたはオフにします。

ローカル iLO システムによりグループに付与される権限は、管理対象サーバーでグループ内の他の iLO システムのユーザーが実行できるタスクを制御します。

使用可能な権限について詳しくは、[iLO 連携グループの権限\(9 ページ\)](#)を参照してください。

6. **グループの更新** をクリックします。

7. グループ名またはグループキーを更新した場合は、それらを他のシステムの影響を受けるグループで更新します。

詳しくは

[ローカル iLO システムに対する iLO 連携グループメンバーシップ\(8 ページ\)](#)

[iLO 連携グループの権限\(9 ページ\)](#)

## iLO 連携グループからのローカル iLO システムの削除

始める前に

iLO の設定の構成

手順

1. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックします。  
セットアップタブに、ローカル iLO システムのグループメンバーシップが表示されます。
2. 削除するグループメンバーシップの横にあるチェックボックスを選択します。
3. **削除** をクリックします。
4. 要求を確認するメッセージが表示されたら、**OK** をクリックします。

## iLO 連携グループメンバーシップの追加（複数の iLO システム）

### 既存のグループに基づく、iLO 連携グループの追加

この手順を使用して、既存のグループと同じメンバーで構成される iLO 連携グループを作成します。たとえば、DEFAULT グループと同じシステムを含むが、権限が異なるグループを作成する必要があるとします。

始める前に

- iLO 設定の構成権限
- この機能をサポートする iLO ライセンスがインストールされている。詳しくは、次の Web サイトを参照してください。 <http://www.hpe.com/info/ilo-licensing-ja>

手順

1. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックして、**グループ構成** タブをクリックします。  
iLO 連携グループが存在しない場合、このページには、構成済みのグループはありませんというメッセージが表示されます。**iLO 連携セットアップ** ページを使用してグループを作成します。
2. **選択されたグループ** メニューからグループを選択します。  
選択したグループ内のすべてのシステムが、このページで作成したグループに追加されます。
3. 次の情報を入力します。
  - **グループ名** - グループ名は 1~31 文字で指定できます。
  - **グループキー** - グループのパスワードは、設定されている最小パスワード長~31 文字で指定できます。
  - **グループキーの確認** - グループのパスワードの確認。存在するグループ名を入力すると、iLO から一意のグループ名の入力が求められます。
4. 次の権限のいずれかを選択します。
  - **ユーザーアカウント管理**
  - **リモートコンソールアクセス**
  - **仮想電源およびリセット**

- 仮想メディア
- iLO 設定の構成
- ログイン権限

この手順では、グループのメンバーがグループの他のメンバーを構成するために所有する権限を定義します。

5. オプション：管理するリモートシステム上で、ユーザーアカウントのログイン名およびパスワードを入力します。

選択したグループが、管理するリモートシステム上の iLO 設定権限を持っていない場合は、この情報が必要です。

複数のリモートシステムの認証情報を入力するには、ログイン名とパスワードが同じユーザーアカウントを各システムで作成します。

詳しくは、iLO のユーザーガイドを参照してください。

6. **グループの作成**をクリックします。

グループの作成プロセスには、数分かかります。グループは、マルチキャストアナウンスメント間隔に構成された時間内に、完全に実装されます。

詳しくは

[iLO 連携グループの権限\(9 ページ\)](#)

## サーバーのフィルターされたセットからのグループの作成

この手順を使用して、フィルターされたサーバーのリストから iLO 連携グループを作成します。たとえば、特定バージョンの iLO ファームウェアを備えているすべてのサーバーを含むグループを作成する場合があります。

フィルターされたサーバーのリストからグループを作成すると、グループの作成時に**影響するシステム**リストに記載されているサーバーだけがグループに追加されます。グループの作成後に、フィルターの条件に適合するサーバーを構成しても、それらのサーバーはグループに追加されません。

### 始める前に

- iLO の設定の構成
- この機能をサポートする iLO ライセンスがインストールされている。詳しくは、次の Web サイトを参照してください。 <http://www.hpe.com/info/ilo-licensing-ja>

### 手順

1. **iLO 連携**ページでフィルターを使用して、システムのセットを作成します。
2. ナビゲーションツリーで **iLO 連携**をクリックして、**グループ構成**タブをクリックします。  
システムのセットを作成するときに適用するフィルターは、ページの上部に表示されます。フィルターを削除するには、フィルターの名前をクリックします。  
iLO 連携グループが存在しない場合、このページには、構成済みのグループはありませんというメッセージが表示されます。**セットアップ**ページを使用してグループを作成します。
3. **選択されたグループ**メニューからグループを選択します。  
選択したグループ内の、選択したフィルター条件に適合するすべてのシステムが、新しいグループに追加されます。
4. 次の情報を入力します。

- **グループ名** - グループ名は 1~31 文字で指定できます。
  - **グループキー** - グループのパスワードは、設定されている最小パスワード長~31 文字で指定できます。
  - **グループキーの確認** - グループのパスワードの確認。
5. 次の権限のいずれかを選択します。
- ユーザーアカウント管理
  - リモートコンソールアクセス
  - 仮想電源およびリセット
  - 仮想メディア
  - iLO 設定の構成
  - ログイン権限

使用可能な権限について詳しくは、[iLO 連携グループの権限](#)(9 ページ)を参照してください。

この手順では、グループのメンバーがグループの他のメンバーを構成するために所有する権限を定義します。

6. オプション：管理するリモートシステム上で、ユーザーアカウントのログイン名およびパスワードを入力します。

選択したグループが、管理するリモートシステム上で iLO の設定の構成を持っていない場合は、この情報が必要です。

複数のリモートシステムの認証情報を入力するには、ログイン名とパスワードが同じユーザーアカウントを各システムで作成します。

7. **グループの作成**をクリックして設定を保存します。

グループの作成プロセスには、数分かかります。グループは、マルチキャストアナウンスメント間隔に構成された時間内に、完全に実装されます。

詳しくは

[選択されたグループのリストのフィルター](#)(16 ページ)

[iLO 連携グループの権限](#)(9 ページ)

## グループメンバーシップの変更によって影響を受けるサーバー

グループ構成ページの影響するシステムセクションには、グループメンバーシップの変更によって影響を受けるサーバーについて、次の詳細が表示されます。

- **サーバー名** - ホストオペレーティングシステムで定義されたサーバー名。
- **サーバー電源** - サーバー電源の状態（オンまたはオフ）。
- **UID インジケーター** - UID LED の状態。UID LED を使用すると、特に高密度ラック環境でサーバーを特定し、その位置を見つけることができます。状態には、**UID オン**、**UID オフ**、および **UID 点滅**があります。
- **iLO ホスト名** - iLO サブシステムに割り当てられた完全修飾ネットワーク名。iLO ホスト名列のリンクをクリックすると、サーバーの iLO Web インターフェイスが開きます。
- **IP アドレス** - iLO サブシステムのネットワーク IP アドレス。IP アドレス列のリンクをクリックすると、サーバーの iLO Web インターフェイスが開きます。

次へまたは前へ（使用可能な場合）をクリックして、リストのサーバーをさらに表示します。

詳しくは

[iLO 連携情報を CSV ファイルにエクスポートする方法](#)(16 ページ)

## エンクロージャー iLO 連携サポートの設定

iLO 連携で BladeSystem c-Class エンクロージャー内のサーバーブレードを使用する場合、Onboard Administrator ソフトウェアで、**エンクロージャー iLO 連携サポートオプション**を有効にする必要があります。

ます。この設定は、エンクロージャー内のサーバブレード間でピアツーピアの通信を可能にするために必要です。エンクロージャー iLO 連携サポートを有効オプションは、デフォルトで有効です。

## 手順

1. Onboard Administrator の Web インターフェイス (https://<OA のホスト名または IP アドレス>) にログインします。
2. ナビゲーションツリーで、エンクロージャー情報 > エンクロージャー設定 > ネットワークアクセスを選択します。

プロトコルタブが表示されます。

3. エンクロージャーの iLO 連携サポートを有効チェックボックスを選択し、適用をクリックします。

プロトコル	信頼されたホスト	匿名データ	FIPS
ログインバナー			

プロトコル制限: これらのプロトコル設定は、このエンクロージャーへのアクセスの拒否、または許可に使用されます。

Webアクセス有効(HTTPHTTPS)  
 セキュアシェル有効  
 Telnet有効  
 XML応答を有効 (一覧)  
 エンクロージャー iLO 連携サポートを有効  
    エンクロージャー 有効 iLO 連携のベイ: 1, 3, 4, 10, 11  
 iLOおよびインターコネクにアクセスするためにFQDNリンクのサポートを有効 ?

適用

CLI を使用して、エンクロージャー iLO 連携サポートを有効オプションを有効または無効にすることもできます。オプションを有効にするには、ENABLE ENCLOSURE\_ILO\_FEDERATION\_SUPPORT を入力します。オプションを無効にするには、DISABLE ENCLOSURE\_ILO\_FEDERATION\_SUPPORT を入力します。詳しくは、Onboard Administrator CLI ユーザーガイドを参照してください。

## iLO 連携に関するサーバブレードサポートの確認

### 手順

1. Onboard Administrator の Web インターフェイス (https://<OA のホスト名または IP アドレス>) にログインします。
2. ナビゲーションツリーでデバイスベイ > <デバイス名> > iLO を選択します。
3. iLO 連携機能設定がはいの値に設定されていることを確認します。

管理プロセッサ情報	
名前	
アドレス	
MACアドレス	
モデル	iLO5
ファームウェアバージョン	1.10 Jun 07 2017
iLO連携機能	対応

# iLO 連携機能の使用

iLO 連携機能は、iLO Web インターフェイスナビゲーションツリーの **iLO 連携** ブランチから使用できません。

ご使用の環境が iLO 連携を使用するための前提条件を満たしていることを確認してください。

## 選択されたグループのリスト

セットアップを除くすべての iLO 連携のページには、**選択されたグループ**のリストがあります。

選択されたグループリストからグループを選択する場合：

- **グループ仮想メディア、グループ電力、グループファームウェアアップデート、グループライセンス、およびグループ構成**ページでの変更の影響を受けるサーバーは、**影響するシステム**の表に表示されません。
- iLO 連携ページに表示される情報は、選択したグループ内のすべてのサーバーに適用されます。
- iLO 連携ページで加えた変更は、選択したグループ内のすべてのサーバーに適用されます。
- 選択したグループは cookie に保存され、iLO からログアウトしても永続的に残ります。

グループを選択した後、サーバーの情報を表示するため、またはグループ内のサーバーのサブセットに対して操作を実行するために、リスト内のサーバーをフィルター処理できます。

## 選択されたグループのリストのフィルター

サーバーのリストを選別する場合

- iLO 連携ページに表示される情報は、フィルター条件に適合する、選択したグループ内のすべてのサーバーに適用されます。
- iLO 連携ページで加えた変更は、フィルター条件に適合する、選択したグループ内のすべてのサーバーに適用されます。
- フィルターの設定は cookie に保存され、iLO からログアウトしても永続的に残ります。

## 選択されたグループのリストのフィルター条件

次の条件を使用して、グループ内のサーバーをフィルタリングすることができます。

- **ヘルスステータス** - ヘルスステータスのリンクをクリックして、特定のヘルスステータスを持つサーバーを選択します。
- **モデル** - サーバーのモデル番号リンクをクリックして、選択したモデルと一致するサーバーを選択します。
- **サーバー名** - 個々のサーバーによってフィルタリングするには、サーバー名をクリックします。
- **ファームウェア情報** - ファームウェアのバージョンまたはフラッシュステータスをクリックし、選択したファームウェアのバージョンまたはステータスに一致するサーバーを選択します。
- **TPM または TM オプション ROM 計測** - オプション ROM 計測ステータスをクリックして、選択したオプション ROM 計測のステータスに一致するサーバーを含めるか、除外します。
- **License Usage** - ライセンスキーに関連するエラーメッセージが表示される場合は、ライセンスキーをクリックして、そのライセンスキーを使用しているサーバーを選択します。
- **ライセンスタイプ** - ライセンスタイプをクリックして、選択したライセンスタイプがインストールされているサーバーを選択します。
- **License status** - ライセンスステータスをクリックして、選択したステータスに一致するライセンスがインストールされているサーバーを選択します。

## iLO 連携情報を CSV ファイルにエクスポートする方法

以下の **iLO 連携** ページで、情報を CSV ファイルにエクスポートできます。



- マルチシステムビュー
- マルチシステムマップ
- グループ仮想メディア
- グループ電力
- グループファームウェアアップデート
- グループライセンス
- グループ構成

#### 手順

1. ファイルエクスポート機能をサポートするページに移動します。
2. 表を CSV 形式で表示をクリックします。
3. CSV アウトプットウィンドウで、保存をクリックしてから、ブラウザのプロンプトに従ってファイルを保存または開きます。

サーバーが複数のページにまたがってリストされている場合、CSV ファイルには iLO Web インターフェイスページに現在表示されているサーバーだけが含まれます。

クエリのエラーが発生した場合、クエリに回答しなかったシステムは、iLO Web インターフェイスページおよび CSV ファイルから除外されます。

## iLO 連携情報のエクスポートオプション

次の情報を iLO 連携ページからエクスポートできます。

#### クリティカルまたは劣化ステータスのシステム

マルチシステムビューページから、このリストをエクスポートします。

#### iLO ピアリスト

マルチシステムマップページから、このリストをエクスポートします。

#### 影響するシステムリスト

次のページでの iLO 連携操作によって影響を受けたシステムのリストをエクスポートします。

- グループ仮想メディア
- グループ電力
- グループファームウェアアップデート
- グループライセンス
- グループ構成

エクスポート機能は、グループ電力設定ページではサポートされていません。

## iLO 連携マルチシステムビュー

マルチシステムビューページは、iLO 連携グループ内のサーバーモデル、サーバーのヘルス、およびクリティカルおよび劣化したサーバーに関する概要を提供します。

## サーバーヘルスおよびモデル情報の表示

#### 手順

1. ナビゲーションツリーで iLO 連携をクリックして、マルチシステムビュータブをクリックします。
2. 選択されたグループメニューからグループを選択します。
3. オプション：サーバーのリストをフィルタリングするには、ヘルスステータス、サーバーモデル、またはサーバー名のリンクをクリックします。

## サーバーヘルスおよびモデルの詳細

- **ヘルス** - 表示された各ヘルスステータスにあるサーバーの数。一覧表示された各ヘルスステータス内のサーバーの総数の%も表示されます。
- **モデル** - モデル番号でグループ化したサーバーのリスト。各モデル番号に対するサーバー総数の割合(%)も表示されます。
- **クリティカルおよび劣化システム** - ステータスがクリティカルまたは劣化であるサーバーのリスト。

## クリティカルおよび劣化のステータスを持つサーバーの表示

### 手順

1. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックして、**マルチシステムビュー** タブをクリックします。
2. 選択された **グループメニュー** からグループを選択します。
3. オプション: サーバーのリストをフィルタリングするには、ヘルスステータス、サーバーモデル、またはサーバー名のリンクをクリックします。
4. **次へ** または **前へ** (使用できる場合) をクリックして、**クリティカルおよび劣化システム** リストのサーバーをさらに表示します。

## クリティカルおよび劣化のサーバーステータスの詳細

- **サーバー名** - ホストオペレーティングシステムで定義されたサーバー名。
- **システムヘルス** - サーバーのヘルスステータス。
- **サーバー電源** - サーバー電源の状態 (オンまたはオフ)。
- **UID インジケータ** - サーバー UID LED の状態。UID LED を使用すると、特に高密度ラック環境でサーバーを特定し、その位置を見つけることができます。状態には、**UID オン**、**UID オフ**、および **UID 点滅** があります。
- **システム ROM** - インストールされているシステム ROM バージョン。
- **iLO ホスト名** - iLO サブシステムに割り当てられた完全修飾ネットワーク名。iLO の Web インターフェイスを開くには、**iLO ホスト名列** のリンクをクリックします。
- **IP アドレス** - iLO サブシステムのネットワーク IP アドレス。サーバーの iLO Web インターフェイスを開くには、**IP アドレス列** のリンクをクリックします。

## iLO 連携マルチシステムマップの表示

マルチシステムマップページには、ローカル iLO システムのピアに関する情報が表示されます。ローカル iLO システムはマルチキャスト検出を使用してそのピアを識別します。

iLO 連携ページがロードされると、Web インターフェイスを実行する iLO システムからそのピアに、およびそれらのピアから他のピアに、選択したグループのすべてのデータが取得されるまでデータのリクエストが送信されます。

### 手順

1. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックして、**マルチシステムマップ** タブをクリックします。
2. 選択された **グループメニュー** からグループを選択します。

## iLO ピアの詳細

- **#** - ピア番号。
- **iLO UUID** - iLO システムの UPnP UUID。
- **最後の参照** - サーバーからの前回の通信のタイムスタンプ。
- **最後のエラー** - 表示されているピアとローカル iLO システムの間での最新の通信エラーの説明。
- **URL** - 表示されているピアの iLO Web インターフェイスを起動するための URL。
- **IP** - ピアの IP アドレス。

# iLO 連携グループの仮想メディア

グループ仮想メディアを使用すると、iLO 連携グループ内のサーバーからアクセスできるスクリプト方式のメディアに接続できます。

- スクリプト方式のメディアは、1.44 MB のディスクイメージ (IMG) および CD/DVD-ROM イメージ (ISO) のみをサポートします。イメージは、グループ化された iLO システムと同じネットワーク上の Web サーバーに存在する必要があります。
- 同時に 1 種類のメディアしかグループに接続できません。
- スクリプト方式のメディアの表示、接続、取り出しや、CD/DVD-ROM ディスクイメージからの起動ができます。スクリプト方式のメディアを使用する場合は、ディスクや CD/DVD-ROM のディスクイメージを Web サーバーに保存し、URL を使用してそのディスクイメージに接続します。iLO では HTTP または HTTPS 形式の URL を使用できます。iLO は FTP をサポートしていません。
- 仮想メディア機能を使用する前に、仮想メディアオペレーティングシステムに関する注意事項を確認してください。

詳しくは、iLO を参照してください。

## グループのスクリプト方式のメディアの接続

### 始める前に

- この機能をサポートする iLO ライセンスがインストールされている。詳しくは、次の Web サイトを参照してください。 <http://www.hpe.com/info/ilo-licensing-ja>
- 選択された iLO 連携グループの各メンバーは、仮想メディア権限をグループに与えていること。

### 手順

1. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックして、**グループ仮想メディア** タブをクリックします。
  2. **選択されたグループ** メニューからグループを選択します。
- 接続するスクリプト方式のメディアは、選択したグループ内のすべてのシステムで利用可能になります。
3. **仮想フロッピーに接続** セクション (IMG ファイル) または **CD/DVD-ROM を接続** セクション (ISO ファイル) の **スクリプトメディア URL** ボックスにスクリプト方式のメディアディスクイメージの URL を入力します。
  4. 次のサーバー再起動時にのみこのディスクイメージからグループ内のサーバーを起動する場合は、**次回リセット時に起動** チェックボックスを選択します。

イメージは 2 番目のサーバー再起動時に自動的に取り出されるので、サーバーは一度しかこのイメージから起動しません。

このチェックボックスを選択しない場合、イメージは手動で取り出すまで接続されたまま残ります。また、サーバーは、システムブートオプションがそのように構成されている場合、以後のすべてのサーバーリセットでイメージから起動します。

**次回のリセット時にブート** チェックボックスを有効にしているときにグループ内のサーバーが POST を実行していると、POST の実行時にサーバーのブート順序を変更できないためにエラーが発生します。POST が終了するのを待ってから、再試行してください。

5. **メディアの挿入** をクリックします。

iLO はコマンドの結果を表示します。

## グループのスクリプト方式のメディアのステータス表示

### 手順

1. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックして、**グループ仮想メディアタブ** をクリックします。

### スクリプト方式のメディアの詳細

スクリプト方式のメディアが iLO 連携グループ内のシステムに接続している場合、**仮想フロッピーステータスセクション**と**仮想 CD/DVD-ROM ステータスセクション**に、次の詳細が示されます。

- **メディアが挿入されました** - 接続されている仮想メディアの種類。スクリプト方式のメディアが接続されている場合、**スクリプトメディア**と表示されます。
- **イメージが接続されました** - 仮想メディアデバイスが接続されているかどうかを示します。
- **イメージ URL** - 接続されているスクリプト方式のメディアを指し示す URL。

メディアが接続されている場合にのみ、**仮想フロッピーステータス**および**仮想 CD/DVD-ROM ステータスセクション**が表示されます。

## スクリプト方式のメディアデバイスの取り出し

### 始める前に

- この機能をサポートする iLO ライセンスがインストールされている。詳しくは、次の Web サイトを参照してください。 <http://www.hpe.com/info/ilo-licensing-ja>
- 選択された iLO 連携グループの各メンバーは、仮想メディア権限をグループに与えていること。

### 手順

1. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックして、**グループ仮想メディアタブ** をクリックします。
2. **選択されたグループメニュー** からグループを選択します。  
取り出すスクリプト方式のメディアデバイスは、選択したグループ内のすべてのシステムから切断されます。
3. **仮想フロッピーステータスセクション** または **仮想 CD/DVD-ROM ステータスセクションのメディアの取り出し** をクリックします。

## グループ仮想メディアの操作の影響を受けるサーバー

**影響するシステムセクション**には、グループ仮想メディアの操作を開始すると影響を受けるサーバーについて、次の詳細が表示されます。

- **サーバー名** - ホストオペレーティングシステムで定義されたサーバー名。
- **サーバー電源** - サーバー電源の状態 (**オン**または**オフ**)。
- **UID インジケーター** - UID LED の状態。UID LED を使用すると、特に高密度ラック環境でサーバーを特定し、その位置を見つけることができます。状態には、**UID オン**、**UID オフ**、および **UID 点滅**があります。
- **iLO ホスト名** - iLO サブシステムに割り当てられた完全修飾ネットワーク名。iLO ホスト名列のリンクをクリックすると、サーバーの iLO Web インターフェイスが開きます。
- **IP アドレス** - iLO サブシステムのネットワーク IP アドレス。IP アドレス列のリンクをクリックすると、サーバーの iLO Web インターフェイスが開きます。

**次へ**または**前へ** (使用可能な場合) をクリックして、リストのサーバーをさらに表示します。

## iLO 連携グループ電力

グループ電力機能では、iLO Web インターフェイスを実行するシステムから複数のサーバーの電力を管理することができます。この機能を使用して、以下を行います。

- ・ オンまたはリセット状態にあるサーバーのグループに対して、電源を切る、リセットする、または電源再投入を行う。
- ・ オフ状態にあるサーバーのグループに対して電源を入れる。
- ・ グループ電力ページの仮想電源ボタンセクションでボタンをクリックすると影響を受けるサーバーのリストを表示する。

## サーバーグループの電力状態の変更

グループ電力ページの仮想電源ボタンセクションには、グループ内のサーバーの現在の電源状態をまとめています。概要情報として、ON、OFF、またはリセット状態のサーバーの合計数が含まれます。システム電源概要は、ページが初めて開かれるときのサーバー電源の状態を示します。システム電源情報を更新するには、ブラウザの更新機能を使用します。

### 始める前に

- ・ この機能をサポートする iLO ライセンスがインストールされている。詳しくは、次の Web サイトを参照してください。<http://www.hpe.com/info/ilo-licensing-ja>
- ・ 選択された iLO 連携グループの各メンバーは、仮想電源およびリセットの権限をグループに与えていること。

### 手順

1. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックして、**グループ電力** タブをクリックします。
2. 選択されたグループメニューからグループを選択します。  
iLO は電源ステータス別にグループ化されたサーバーを表示し、各状態にあるサーバーの合計数を示すカウンターも表示します。
3. サーバーのグループの電力状態を変更するには、次のいずれかを実行します。
  - ・ オンまたはリセット状態にあるサーバーの場合は、次のいずれかのボタンをクリックします。
    - 瞬間的に押す
    - 押し続ける
    - リセット
    - コールドブート
  - ・ オフ状態にあるサーバーの場合は、**瞬間的に押す** ボタンをクリックします。  
オフ状態にあるサーバーでは、**押し続ける**、**リセット**、および**コールドブート** オプションは使用できません。
4. 要求を確認するメッセージが表示されたら、**OK** をクリックします。  
仮想電源ボタンの作動に対して、グループ化されたサーバーが応答している間、iLO に進行状況バーが表示されます。進行状況バーには、コマンドの実行に成功したサーバーの数が示されます。  
コマンド結果セクションには、電源状態の変更に関連したエラーメッセージなど、コマンドのステータスおよび結果が表示されます。

## 仮想電源ボタンのオプション

- ・ **瞬間的に押す** - 物理的な電源ボタンを押す場合と同じです。  
一部のオペレーティングシステムは、瞬間的に押した後で適切なシャットダウンを開始するか、またはこのイベントを無視するように構成されている場合があります。仮想電源ボタンを使用してシャットダウンを実行する前に、Hewlett Packard Enterprise はシステムコマンドを使用して適切なオペレーティングシステムシャットダウンを完了することをおすすめします。
- ・ **押し続ける** - 物理的な電源ボタンを 5 秒間押し続け、離すことと同じです。  
この操作の結果、選択したグループ内のサーバーの電源がオフになります。このオプションを使用すると、適切なオペレーティングシステムの終了に影響する場合があります。

このオプションは、一部のオペレーティングシステムが実装している ACPI 機能を提供します。これらのオペレーティングシステムは、瞬間的に押すと押し続けるによって動作が異なります。

- **リセット** - 選択したグループ内のサーバーを強制的にウォームブートします。CPU と I/O リソースがリセットされます。このオプションを使用すると、適切なオペレーティングシステムの終了に影響します。
- **コールドブート** - 選択したグループ内のサーバーの電源をただちに切ります。プロセッサ、メモリ、および I/O リソースは、メインの電力が失われます。サーバーは、約 6 秒後再起動します。このオプションを使用すると、適切なオペレーティングシステムの終了に影響します。

## 仮想電源ボタンによって影響を受けるサーバー

影響するシステムリストには、仮想電源ボタンの動作を開始すると影響を受けるサーバーについて、次の詳細が示されます。

- **サーバー名** - ホストオペレーティングシステムで定義されたサーバー名。
- **サーバー電源** - サーバー電源の状態（オンまたはオフ）。
- **UID インジケーター** - UID LED の状態。UID LED を使用すると、特に高密度ラック環境でサーバーを特定し、その位置を見つけることができます。状態には、**UID オン**、**UID オフ**、および **UID 点滅**があります。
- **iLO ホスト名** - iLO サブシステムに割り当てられた完全修飾ネットワーク名。iLO ホスト名列のリンクをクリックすると、サーバーの iLO Web インターフェイスが開きます。
- **IP アドレス** - iLO サブシステムのネットワーク IP アドレス。IP アドレス列のリンクをクリックすると、サーバーの iLO Web インターフェイスが開きます。

次へまたは前へ（使用可能な場合）をクリックして、リストのサーバーをさらに表示します。

## グループ消費電力上限の構成

### 始める前に

- この機能をサポートする iLO ライセンスがインストールされている。詳しくは、次の Web サイトを参照してください。 <http://www.hpe.com/info/ilo-licensing-ja>
- 選択された iLO 連携グループの各メンバーは、iLO の設定の構成をグループに与えていること。

### 手順

1. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックして、**グループ電力設定** タブをクリックします。
2. **選択されたグループ** メニューからグループを選択します。

このページで行った変更は、選択したグループ内のすべてのシステムに影響します。

3. **手動の電力消費上限を有効** チェックボックスを選択します。
4. **電力消費上限値** を W、BTU/時、または % で入力します。  
% は、最大電力値と最小電力値の差です。消費電力上限の値は、サーバー最小電力値より下には設定できません。
5. オプション: 値が W で表示されているときは、**値を BTU/時で表示** をクリックして表示を BTU/時に変更します。値が BTU/時で表示されている場合、表示を W に変更するには **値をワットで表示** をクリックします。
6. **適用** をクリックします。

## グループ消費電力上限の注意事項

グループ電力設定機能では、iLO Web インターフェイスを実行するシステムから、複数のサーバーの消費電力上限を動的に設定することができます。

- グループ消費電力上限を設定している場合、グループ化されたサーバーは、消費電力上限を超えないように電力を共有します。電力はビジー状態のサーバーにより多く割り当てられ、アイドル状態のサーバーにはより少ない電力が割り当てられます。
  - グループに対して設定した消費電力上限は、個々のサーバーの**電力設定**ページで設定できる消費電力上限とともに動作します。
  - エンクロージャーまたは個々のサーバーレベルで構成されている消費電力上限や、別の iLO 連携グループによって構成されている消費電力上限がサーバーに影響を与える場合は、他のグループの消費電力上限によりそのサーバーに割り当てられる電力が少なくなる可能性があります。
  - 消費電力上限が設定されている場合、グループ化されたサーバーの平均電力測定値は、消費電力上限値以下である必要があります。
  - POST 実行中、ROM は最大電力測定値と最小電力測定値を決定する 2 つの電力テストを実行します。消費電力上限の設定を決定するときは、**自動グループ消費電力上限の設定**の表の値を考慮してください。
    - 最大利用可能電力** - グループ内のすべてのサーバーの総電源容量。この値は、**最大消費電力上限値**のしきい値です。グループ内のサーバーはこの値を超えてはいけません。
    - サーバー最大電力** - グループ内のすべてのサーバーの最大電力測定値。この値は、**最小ハイパフォーマンス上限**のしきい値で、現在の構成でグループ内のサーバーが使用する最大電力を表します。この値に設定されている消費電力上限は、サーバーのパフォーマンスに影響を与えません。
    - サーバー最小電力** - グループ内のすべてのサーバーの最小電力測定値。この値は、**最小消費電力上限**のしきい値で、グループ内のサーバーが使用する最小電力を表します。この値に設定されている消費電力上限は、サーバーの電力使用量を最小化するため、その結果サーバーのパフォーマンスが低下します。
  - 消費電力上限は、一部のサーバーではサポートされていません。詳しくは、サーバーの仕様書を参照してください。
  - 一部のサーバーの消費電力上限設定は、iLO Web インターフェイスの外部で次のようなツールを使用して管理する必要があります。
    - HPEAdvanced Power Manager
- サーバーでサポートされる電力管理機能について詳しくは、<http://www.hpe.com/info/qs> でサーバーの仕様書を参照してください。

## グループ消費電力上限情報の表示

### 始める前に

この機能をサポートする iLO ライセンスがインストールされている。詳しくは、Web サイト <http://www.hpe.com/info/ilo-licensing-ja> を参照してください。

### 手順

- ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックして、**グループ電力設定** タブをクリックします。
- 選択されたグループ** メニューからグループを選択します。
- オプション: 値が W で表示されているときは、**値を BTU/時で表示** をクリックして表示を BTU/時に変更します。値が BTU/時で表示されている場合、ワット単位での表示に変更するには**値をワットで表示** をクリックします。

### 消費電力上限の詳細

- HPE 自動グループ電力消費上限の設定** - このセクションには、以下の詳細が表示されます。
  - 計測された電力値** - 最大利用可能電力、サーバー最大電力、およびサーバー最小電力。
  - 電力消費上限値** - 電力消費上限値（設定されている場合）。
- 現在の状態** - このセクションには、以下の詳細が含まれています。

- **現在の電力読み取り値** - 選択されたグループの現在の電力読み取り値。
- **現在の消費電力上限値** - 選択したグループに割り当てられている電力の合計量。消費電力上限が設定されていない場合、この値はゼロです。
- **このシステムへのグループの電力割当て** - ローカル iLO システムに影響を及ぼすグループ消費電力上限と、各グループ消費電力上限によってローカル iLO システムに割り当てられる電力の量が一覧表示されます。消費電力上限が設定されていない場合、割り当て電力値はゼロです。

## iLO 連携グループのファームウェアアップデート

グループファームウェアアップデート機能では、ファームウェア情報を参照したり、iLO Web インターフェイスを実行するシステムから複数のサーバーのファームウェアを更新したりできます。次のファームウェアタイプが iLO 連携でサポートされています。

- iLO ファームウェア
- システム ROM (BIOS)
- シャーシファームウェア (パワーマネジメント)
- パワーマネジメントコントローラー
- システムプログラマブルロジックデバイス (CPLD)
- NVMe バックプレーンファームウェア
- 言語パック

## iLO ファームウェアイメージファイルの入手

iLO ファームウェアイメージファイルをダウンロードし、それを使用して iLO 連携グループ内の 1 つのサーバーまたは複数のサーバーをアップデートできます。

フラッシュファームウェア機能とグループファームウェアアップデート機能を使用して iLO ファームウェアをアップデートするために、iLO オンライン ROM フラッシュコンポーネントからの BIN ファイルが必要です。

### 手順

1. 次の Web サイトに移動します。 <http://www.hpe.com/support/hpesc>
2. iLO オンライン ROM フラッシュコンポーネントファイルを見つけてダウンロードするには、画面の指示に従います。

Windows または Linux のコンポーネントをダウンロードします。

3. BIN ファイルを抽出します。
  - Windows コンポーネントの場合：ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、**解凍ボタン**をクリックします。ファイルを抽出する位置を選択して、**OK** をクリックします。
  - Linux コンポーネントの場合：ファイル形式によって異なりますが、次のいずれかのコマンドを入力します。

- `#sh ./CP00XXXX.scexe -unpack=/tmp/`
- `#rpm2cpio <firmware_file_name>.rpm | cpio -id`

iLO ファームウェアイメージファイルの名前は、iLO 5\_<yyy>.bin です。ここで、<yyy>はファームウェアバージョンを表します。

iLO 連携グループファームウェアアップデートの場合、入力する URL は、`http://<server.example.com>/<subdir>/iLO 5_<yyy>.bin` です。ここで、<yyy>はファームウェアバージョンを表します。



# サポートされるサーバーファームウェアイメージファイルの入手

## 手順

1. 次の Web サイトに移動します。 <http://www.hpe.com/support/hpesc>
2. 画面の指示に従ってオンライン ROM フラッシュコンポーネントファイルを探し、ダウンロードします。
3. ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、**解凍**ボタンをクリックします。
4. ファイルを抽出する位置を選択して、**OK** をクリックします。

## サーバーファームウェアのファイルタイプの詳細

- システム ROM を更新する場合、署名付きのイメージまたは署名付きの ROMPAQ イメージを使用する必要があります。
  - **署名付きイメージの例：**  
`http://<server.example.com:8080>/<wwwroot>/P79_1.00_10_25_2013.signed.flash`
  - **署名付き ROMPAQ イメージの例：**  
`http://<server.example.com>/<wwwroot>/CPQPJ0612.A48`
- パワーマネジメントコントローラー、シャーシファームウェア、および NVMe バックプレーンファイルは、拡張子 `.hex` を使用します。たとえば、ファイル名は `ABCD5S95.hex` のようになります。
- システムプログラマブルロジックデバイス (CPLD) のファームウェアファイルは、ファイル拡張子 `.vme` を使用します。

## 複数のサーバーのファームウェアの更新

### 始める前に

- 選択された iLO 連携グループの各メンバーが iLO の設定の構成 をグループに与えている。
- この機能をサポートする iLO ライセンスがインストールされている。詳しくは、Web サイト <http://www.hpe.com/info/ilo-licensing-ja> を参照してください。

### 手順

1. サポートされているファームウェアを、Hewlett Packard Enterprise サポートセンター (<http://www.hpe.com/support/hpesc>) からダウンロードしてください。
2. Web サーバーにファームウェアファイルを保存します。
3. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックして、**グループファームウェアアップデート** タブをクリックします。
4. **選択されたグループ** メニューからグループを選択します。

このページでファームウェアアップデートを開始すると、選択したグループ内のすべてのシステムが影響を受けます。
5. オプション：ファームウェアのバージョン、フラッシュステータス、または TPM または TM オプション ROM 計測ステータスリンクをクリックして、影響を受けたシステムのリストをフィルタリングします。

### △ 注意:

TPM または TM がインストールされているサーバーでシステム ROM または iLO ファームウェアの更新を実行しようとする、iLO によって、TPM または TM に情報を保存しているすべてのソフトウェアを一時停止またはバックアップするように求められます。たとえば、ドライブ暗号化ソフトウェアを使用している場合は、ファームウェアの更新を開始する前に停止してください。この指示に従わない場合、ご使用のデータにアクセスできなくなる可能性があります。

6. **ファームウェアアップデート** セクションで、Web サーバーのファームウェアファイルへの URL を入力し、**ファームウェアのアップデート** をクリックします。

選択した各システムがファームウェアイメージをダウンロードし、それをフラッシュしようと試みません。

フラッシュステータスセクションは更新され、iLO は更新が進行中であることを通知します。アップデートが完了すると、**ファームウェア情報**セクションが更新されます。

ファームウェアイメージがシステムに対して無効か、署名が不適切か、またはない場合、iLO はイメージを拒否し、影響を受けるシステムのエラーを**フラッシュステータス**セクションに表示します。

ファームウェアアップデートの種類によっては、新しいファームウェアを有効にするために、システムのリセット、iLO のリセット、またはサーバーの再起動が必要になる場合があります。

## グループファームウェア情報の表示

### 手順

1. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックして、**グループファームウェアアップデート** タブをクリックします。
2. **選択されたグループ** メニューからグループを選択します。
3. オプション: ファームウェアのバージョン、フラッシュステータス、または TPM または TM オプション ROM 計測ステータスリンクをクリックして、表示されるシステムのリストをフィルタリングします。

### ファームウェアの詳細

ファームウェア情報セクションには、以下の情報が表示されます。

- サポート対象の各 iLO ファームウェアバージョンのサーバー数。リストされているファームウェアのバージョンを搭載するサーバーの総数の割合 (%) も表示されます。
- グループ化されたサーバーのフラッシュステータス。一覧表示されたステータスのサーバーの総数の % も表示されます。
- グループ化されたサーバーの TPM または TM オプション ROM 計測ステータス。一覧表示されたステータスのサーバーの総数の % も表示されます。
- システム ROM のバージョンごとのサーバーの数。一覧表示されたシステム ROM バージョンを搭載するサーバーの総数の % も表示されます。

## グループのファームウェアアップデートの影響を受けるサーバー

影響するシステムリストには、ファームウェアアップデートによって影響を受けるサーバーについて、次の詳細が示されます。

- **サーバー名** - ホストオペレーティングシステムで定義されたサーバー名。
- **システム ROM** - インストールされているシステム ROM (BIOS)。
- **iLO ファームウェアバージョン** - インストールされている iLO ファームウェアバージョン。
- **iLO ホスト名** - iLO サブシステムに割り当てられた完全修飾ネットワーク名。iLO ホスト名列のリンクをクリックすると、サーバーの iLO Web インターフェイスが開きます。
- **IP アドレス** - iLO サブシステムのネットワーク IP アドレス。IP アドレス列のリンクをクリックすると、サーバーの iLO Web インターフェイスが開きます。

次へまたは前へ (使用可能な場合) をクリックして、リストのサーバーをさらに表示します。

## ライセンスキー iLO のインストール

グループライセンスページには、選択した iLO 連携グループのメンバーのライセンスステータスが表示されます。以下の手順を使用して、キーを入力して、ライセンス済みの iLO 機能を有効にします。

## 始める前に

- iLO の設定の構成
- iLO 連携グループの各メンバーは、iLO の設定の構成をグループに与えました。
- 選択したサーバーの数に対するライセンスキーが付与されています。

## 手順

1. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックして、**グループライセンス** タブをクリックします。
2. オプション：影響を受けたシステムのリストをフィルタリングするには、**ライセンスタイプ** または **ステータス** リンクをクリックします。
3. すでにキーがインストールされているサーバー上でライセンスキーをインストールした場合、現在のキーは新しいキーに置き換えられます。既存のライセンスを置き換えたくない場合は、**ステータス** セクションの **Unlicensed** をクリックして、ライセンスが適用されていないサーバーにのみライセンスをインストールします。
4. **アクティベーション** キーボックスにライセンスキーを入力します。
5. **アクティベーション** キーボックスで、セグメント間でカーソルを移動するには、**Tab** キーを押す、またはボックスのセグメントの内側をクリックします。**アクティベーション** キーボックスのセグメントにデータを入力すると、カーソルは自動的に次に進みます。
6. **インストール** をクリックします。
7. EULA 確認ダイアログボックスが開きます。

エンドユーザー使用許諾契約の詳細は、ライセンスパックオプションキットに記載されています。

8. **OK** をクリックします。

**ライセンス情報** セクションは更新され、選択したグループ用の新しいライセンスの詳細を表示します。

## ライセンスインストールの影響を受けるサーバー

**影響するシステム** セクションには、ライセンスキーをインストールする場合に影響を受けるサーバーに関する、次の詳細が表示されます。

- **サーバー名** - ホストオペレーティングシステムで定義されたサーバー名。
- **ライセンス** - インストールされているライセンスタイプ。
- **iLO ファームウェアバージョン** - インストールされている iLO ファームウェアバージョン。
- **iLO ホスト名** - iLO サブシステムに割り当てられた完全修飾ネットワーク名。**iLO ホスト名列** のリンクをクリックすると、サーバーの iLO Web インターフェイスが開きます。
- **IP アドレス** - iLO サブシステムのネットワーク IP アドレス。**IP アドレス列** のリンクをクリックすると、サーバーの iLO Web インターフェイスが開きます。

**次へ** または **前へ**（使用可能な場合）をクリックして、リストのサーバーをさらに表示します。

## ライセンス情報の表示

### 手順

1. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックして、**グループライセンス** タブをクリックします。
2. **選択されたグループ** メニューからグループを選択します。
3. オプション：サーバーのリストをフィルタリングするには、**ライセンス情報** セクションの **ライセンスタイプ** または **ステータス** リンクをクリックします。

### iLO 連携グループのライセンスの詳細

- **タイプ** - 一覧表示されている各ライセンスタイプのあるサーバーの数。一覧表示されている各ライセンスタイプを持つサーバーの総数の%も表示されます。
- **ステータス** - 一覧表示されている各ライセンスステータスのあるサーバーの数。各ライセンスステータスのあるサーバーの総数の%も表示されます。以下のステータス値が表示されます。

- **Evaluation** - 有効な評価ライセンスをインストールします。
- **Expired** - 期限切れの評価ライセンスがインストールされています。
- **Perpetual** - 有効な iLO ライセンスがインストールされています。このライセンスに有効期限はありません。
- **Unlicensed** - 工場出荷時のデフォルト (iLO Standard) 機能が有効化されています。

## iLO ライセンス

すべてのサーバーに搭載されている iLO 標準機能を使用して、サーバーセットアップの簡素化、ヘルス監視の実行、電力と温度制御の監視、およびリモートサーバー管理の促進ができます。

iLO ライセンスでは、マルチユーザーコラボレーション用のグラフィカルリモートコンソール、ビデオの録画と再生など、多くの機能が有効になります。

### iLO ライセンスを登録する理由

- 登録により、一意の HPE サポート契約 ID (SAID) が有効になります。SAID はユーザーとユーザーが使用する製品を識別します。
- SAID を使用すると、より迅速な HPE サポートサービスが得られます。
- HPE サポートセンター (<http://www.hpe.com/downloads/software>) にアクセスできます。
- HPE アップデートセンター (<http://www.hpe.com/downloads/software>) でソフトウェアアップデートにアクセスできます。
- 重要な製品アラートを受信します。
- HPE ライセンスポータルを使用して 1 つの場所で HPE 製品ライセンスキーを追跡します。

### iLO ライセンスを登録する方法

1. **ライセンス権利証明書**または**ライセンスの確認メール**で権利注文番号 (EON) を探します。
2. HPE **ライセンスポータル**で EON を入力します。

### ライセンスキー情報

- ライセンスキーの購入、登録、および引き換えについて詳しくは、次の Web サイトにある iLO ライセンスガイドを参照してください。 <http://www.hpe.com/support/ilo-docs>
- 製品をインストールして使用するサーバーごとに 1 つの iLO ライセンスが必要です。ライセンスは譲渡できません。
- 別のサーバータイプを意味するライセンスキーを使用してサーバーにライセンスを適用することはできません。
- iLO Advanced ライセンスは Synergy コンピュートモジュールに自動的に付属します。
- ライセンスキーを無くした場合、無くなったライセンスキーに対する手順に従います。
- iLO の無償評価ライセンスキーは、次の Web サイトからダウンロードできます。 <http://www.hpe.com/info/tryilo>

# iLO 連携での iLO RESTful API の使用

サーバー管理ツールや iLO RESTful API を使用して基本的な HTTPS 操作（GET、PUT、POST、DELETE、および PATCH）を iLO Web サーバーに送信すると、iLO 連携の設定を参照したり、構成したりできます。

iLO RESTful API について詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト（<http://www.hpe.com/info/restfulinterface/docs>）を参照してください。

iLO RESTful API を使用したタスクの自動化について詳しくは、<http://www.hpe.com/info/redfish> にあるライブラリーとサンプルコードを参照してください。

# iLO 連携での RIBCL スクリプトの使用

RIBCL スクリプトを使用して iLO 連携の設定を表示したり、構成したりできます。

HPQLOCFG ユーティリティを使用して RIBCL スクリプトをサーバーグループに送信する方法については、iLO のスクリプティング/コマンドラインガイドを参照してください。別のツールを使用してスクリプトをサーバーのグループに送信するには、ツールのドキュメントを参照してください。

この章では、使用可能な iLO 連携スクリプトについて説明します。サンプルのスクリプトは、次の Web サイト <http://www.hpe.com/support/ilo5> からダウンロードできます。

## GET\_FEDERATION\_MULTICAST

GET\_FEDERATION\_MULTICAST コマンドを使用して、現在の連携マルチキャストオプションを取得します。応答にはマルチキャスト検出、マルチキャスト通知間隔、IPv6 マルチキャストスコープ、マルチキャスト TTL の値が含まれます。コマンドを RIB\_INFO コマンドブロック内に示し、RIB\_INFO モードを read に設定してください。

例：

```
<RIBCL VERSION="2.0">
  <LOGIN USER_LOGIN="adminname" PASSWORD="password">

  <RIB_INFO MODE="read">

    <GET_FEDERATION_MULTICAST/>

  </RIB_INFO>
</LOGIN>
</RIBCL>
```

### GET\_FEDERATION\_MULTICAST のパラメーター

なし

### GET\_FEDERATION\_MULTICAST のランタイムエラー

なし

### GET\_FEDERATION\_MULTICAST が返すメッセージ

以下の応答は、GET\_FEDERATION\_MULTICAST コマンドから返されるデータの典型例です。

```
<?xml version="1.0"?>
<RIBCL VERSION="2.23">

<RESPONSE
  STATUS="0x0000"

  MESSAGE='No error'
  />
<MULTICAST_FEDERATION_ENABLED VALUE="Yes"/>
<MULTICAST_DISCOVERY_ENABLED VALUE="Yes"/>

<MULTICAST_ANNOUNCEMENT_INTERVAL VALUE="60"/>

<IPV6_MULTICAST_SCOPE VALUE="Site"/>
```

```
<MULTICAST_TTL VALUE="255"/>
</GET_FEDERATION_MULTICAST>
</RIBCL>
```

## SET\_FEDERATION\_MULTICAST

SET\_FEDERATION\_MULTICAST を使用して、iLO 連携を有効または無効にしたり、iLO 連携のマルチキャストオプション（マルチキャスト検出、マルチキャスト通知間隔、IPv6 マルチキャスト範囲、マルチキャスト TTL など）を設定したりします。

例：

```
<RIBCL VERSION="2.0">
  <LOGIN USER_LOGIN="adminname" PASSWORD="password">

    <RIB_INFO MODE="write">

      <SET_FEDERATION_MULTICAST>

        <MULTICAST_FEDERATION_ENABLED VALUE="Yes"/>

        <MULTICAST_DISCOVERY_ENABLED VALUE="Yes"/>

        <MULTICAST_ANNOUNCEMENT_INTERVAL VALUE="30"/>

        <IPV6_MULTICAST_SCOPE VALUE="Site"/>

        <MULTICAST_TTL VALUE="255"/>

      </SET_FEDERATION_MULTICAST>

    </RIB_INFO>
  </LOGIN>
</RIBCL>
```

---

### 注記:

マルチキャスト検出またはマルチキャスト通知を無効にすると、iLO 連携機能が無効になります。

iLO 連携グループのすべてのデバイスは、ピアの検出を適切に有効にするために同じスコープと TTL を持つ必要があります。

---

## SET\_FEDERATION\_MULTICAST のパラメーター

MULTICAST\_FEDERATION\_ENABLED は iLO 連携を有効または無効にします。値は、**Yes**（有効）または **No**（無効）でなければなりません。無効の場合、iLO 連携管理機能は使用できません。

MULTICAST\_DISCOVERY\_ENABLED は、マルチキャスト検出を有効または無効にします。値は、**Yes**（有効）または **No**（無効）でなければなりません。有効の場合、このパラメーターによりネットワークで連携 iLO が検出できるようになります。無効の場合、iLO 連携機能は使用できません。

MULTICAST\_ANNOUNCEMENT\_INTERVAL は、ネットワークの各マルチキャストのアベイラビリティ通知の間隔の秒数を設定します。有効な値は、**Disabled**、30、60、120、300、600、900、1800 秒です。無効の場合、iLO 連携機能は使用できません。

IPV6\_MULTICAST\_SCOPE はマルチキャスト検出のスコープを設定します。有効な値は、**Link** (link-local)、**Site** (site-local)、**Organization** (organization-local) です。iLO 連携グループのすべてのデバイスは、ピアの検出を適切に有効にするために同じスコープを持つ必要があります。

MULTICAST\_TTL は Time to Live を設定し、マルチキャスト検出が停止する前に横断することができるスイッチの数を制限します。有効な値は、1~255 です。連携グループ内のすべてのデバイスは、ピアの検出を適切に有効にするために同じ TTL を持つ必要があります。

## SET\_FEDERATION\_MULTICAST のランタイムエラー

表示される可能性のある SET\_FEDERATION\_MULTICAST のエラーメッセージは次のとおりです。

- The MULTICAST\_ANNOUNCEMENT\_INTERVAL VALUE is invalid. (MULTICAST\_ANNOUNCEMENT\_INTERVAL VALUE の値が無効です。)
- The IPV6\_MULTICAST\_SCOPE VALUE is invalid. (IPV6\_MULTICAST\_SCOPE VALUE の値が無効です。)
- The MULTICAST\_TTL VALUE is invalid. (MULTICAST\_TTL の値が無効です。) 有効な値は、1~255 です。
- User does not have correct privilege for action. CONFIG\_ILO\_PRIV required. (ユーザーは、この操作を行うための適切な権限を持っていません。CONFIG\_ILO\_PRIV が必要です。)

## GET\_FEDERATION\_ALL\_GROUPS

GET\_FEDERATION\_ALL\_GROUPS コマンドを使用してすべての iLO 連携グループ名のリストを取得します。コマンドを RIB\_INFO コマンドブロック内に示し、RIB\_INFO モードを read に設定してください。

例：

```
<RIBCL VERSION="2.0">
  <LOGIN USER_LOGIN="adminname" PASSWORD="password">

    <RIB_INFO MODE="read">

      <GET_FEDERATION_ALL_GROUPS/>

    </RIB_INFO>
  </LOGIN>
</RIBCL>
```

## GET\_FEDERATION\_ALL\_GROUPS のパラメーター

なし

## GET\_FEDERATION\_ALL\_GROUPS のランタイムエラー

なし

## GET\_FEDERATION\_ALL\_GROUPS が返すメッセージ

以下の応答は、GET\_FEDERATION\_ALL\_GROUPS コマンドから返されるデータの典型例です。

```
<?xml version="1.0"?>
<RIBCL VERSION="2.23">

  <RESPONSE
    STATUS="0x0000"

    MESSAGE='No error'
  />
```



```
<GET_FEDERATION_ALL_GROUPS>
  <GROUP_NAME VALUE="Group1"/>
  <GROUP_NAME VALUE="Group2"/>
</GET_FEDERATION_ALL_GROUPS>
</RIBCL>
```

## GET\_FEDERATION\_ALL\_GROUPS\_INFO

GET\_FEDERATION\_ALL\_GROUPS\_INFO を使用して、すべての iLO 連携グループ名と、各グループに関連する権限のリストを取得します。特定のグループの権限を取得するには、**GET\_FEDERATION\_GROUP** を使用します。返されるグループ権限には、グループ名のほかに次のものが含まれます。

- ユーザーアカウント管理 (ADMIN\_PRIV)
- リモートコンソールアクセス (REMOTE\_CONS\_PRIV)
- 仮想電源およびリセット (RESET\_SERVER\_PRIV)
- 仮想メディア (VIRTUAL\_MEDIA\_PRIV)
- iLO 設定の構成 (CONFIG\_ILO\_PRIV)
- ログイン権限 (LOGIN\_PRIV)

---

### 注記:

GET\_FEDERATION\_ALL\_GROUPS\_INFO は、iLO 5 の Web インターフェイスから利用できる拡張グループ権限をサポートするようには改良されていませんでした。iLO 5 でのグループ権限の設定について詳しくは、HPE Information Library にある (<http://www.hpe.com/info/ilo/docs>) にある *HPE iLO 5 ユーザーガイド* を参照してください。

---

コマンドを RIB\_INFO コマンドブロック内に示し、RIB\_INFO モードを read に設定してください。

例 :

```
<RIBCL VERSION="2.0">
  <LOGIN USER_LOGIN="adminname" PASSWORD="password">
    <RIB_INFO MODE="read">

      <GET_FEDERATION_ALL_GROUPS_INFO/>

    </RIB_INFO>
  </LOGIN>
</RIBCL>
```

## GET\_FEDERATION\_ALL\_GROUPS\_INFO のパラメーター

なし。

## GET\_FEDERATION\_ALL\_GROUPS\_INFO のランタイムエラー

なし

## GET\_FEDERATION\_ALL\_GROUPS\_INFO が返すメッセージ

以下の応答は、GET\_FEDERATION\_ALL\_GROUPS\_INFO コマンドから返されるデータの典型例です。

```
<?xml version="1.0"?>
<RIBCL VERSION="2.23">
```

```

<RESPONSE
  STATUS="0x0000"

  MESSAGE='No error'
  />

<GET_FEDERATION_ALL_GROUPS_INFO>
  <FEDERATION_GROUP>

    <GROUP_NAME VALUE="Group1"/>

    <ADMIN_PRIV VALUE="Yes"/>
    <REMOTE_CONS_PRIV VALUE="Yes"/>
    <RESET_SERVER_PRIV VALUE="Yes"/>
    <VIRTUAL_MEDIA_PRIV VALUE="Yes"/>
    <CONFIG_ILO_PRIV VALUE="Yes"/>

    <LOGIN_PRIV VALUE="Yes"/>

  </FEDERATION_GROUP>

  <FEDERATION_GROUP>

    <GROUP_NAME VALUE="Group2"/>

    <ADMIN_PRIV VALUE="Yes"/>
    <REMOTE_CONS_PRIV VALUE="Yes"/>

    <RESET_SERVER_PRIV VALUE="No"/>

    <VIRTUAL_MEDIA_PRIV VALUE="No"/>
    <CONFIG_ILO_PRIV VALUE="Yes"/>

    <LOGIN_PRIV VALUE="Yes"/>
  </FEDERATION_GROUP>
</GET_FEDERATION_ALL_GROUPS_INFO>
</RIBCL>

```

## GET\_FEDERATION\_GROUP

GET\_FEDERATION\_GROUP を使用して、特定の連携グループに付与された権限を取得します。すべてのグループに付与された権限を取得するには、**GET\_FEDERATION\_ALL\_GROUPS\_INFO** を使用します。グループ名のほか、次のグループ権限が返されます。

- ユーザーアカウント管理 (ADMIN\_PRIV)
- リモートコンソールアクセス (REMOTE\_CONS\_PRIV)
- 仮想電源およびリセット (RESET\_SERVER\_PRIV)
- 仮想メディア (VIRTUAL\_MEDIA\_PRIV)
- iLO 設定の構成 (CONFIG\_ILO\_PRIV)
- ログイン権限 (LOGIN\_PRIV)

コマンドを RIB\_INFO コマンドブロック内に示し、RIB\_INFO モードを `read` に設定してください。

例：

```

<RIBCL VERSION="2.0">
  <LOGIN USER_LOGIN="adminname" PASSWORD="password">

```

```
<RIB_INFO MODE="read">
  <GET_FEDERATION_GROUP GROUP_NAME="groupname"/>
</RIB_INFO>
</LOGIN>
</RIBCL>
```

---

**注記:**

GET\_FEDERATION\_GROUP は、iLO 5 の Web インターフェイスから利用できる拡張グループ権限をサポートするには改良されていませんでした。iLO 5 でのグループ権限の設定について詳しくは、HPE Information Library にある (<http://www.hpe.com/info/ilo/docs>) にある *HPE iLO 5 ユーザーガイド*を参照してください。

---

## GET\_FEDERATION\_GROUP のパラメーター

GROUP\_NAME - 表示するグループの名前。名前の文字数は 1~31 文字でなければなりません。

## GET\_FEDERATION\_GROUP のランタイムエラー

GET\_FEDERATION\_GROUP は、GROUP\_NAME に指定した値が既存のグループに一致しない場合、次のメッセージを返します。

Group name not found. (グループ名が見つかりません。)

## GET\_FEDERATION\_GROUP が返すメッセージ

以下の応答は、GET\_FEDERATION\_GROUP コマンドから返されるデータの典型例です。

```
<?xml version="1.0"?>
<RIBCL VERSION="2.23">

<RESPONSE
  STATUS="0x0000"

  MESSAGE='No error'
  />

<GET_FEDERATION_GROUP>
  <FEDERATION_GROUP>

    <GROUP_NAME VALUE="Group2"/>

    <ADMIN_PRIV VALUE="Yes"/>
    <REMOTE_CONS_PRIV VALUE="Yes"/>

    <RESET_SERVER_PRIV VALUE="No"/>

    <VIRTUAL_MEDIA_PRIV VALUE="No"/>
    <CONFIG_ILO_PRIV VALUE="Yes"/>

    <LOGIN_PRIV VALUE="Yes"/>
  </FEDERATION_GROUP>
</GET_FEDERATION_GROUP>
</RIBCL>
```

# ADD\_FEDERATION\_GROUP

ADD\_FEDERATION\_GROUP を使用して新しい iLO 連携グループを作成したり、既存のグループに関連した権限を iLO に設定しながら、そのグループのメンバーシップに iLO を追加したりします。必ず、コマンドを RIB\_INFO コマンドブロック内に示し、RIB\_INFO モードを write に設定してください。

---

## 注記:

ADD\_FEDERATION\_GROUP は、iLO 5 の Web インターフェイスから利用できる拡張グループ権限をサポートするには改良されていませんでした。iLO 5 でのグループ権限の設定について詳しくは、HPE Information Library にある (<http://www.hpe.com/info/ilo/docs>) にある *HPE iLO 5 ユーザーガイド* を参照してください。

---

例 :

```
<RIBCL VERSION="2.0">
  <LOGIN USER_LOGIN="adminname" PASSWORD="password">

    <RIB_INFO MODE="write">

      <ADD_FEDERATION_GROUP

        GROUP_NAME="groupname"

        GROUP_KEY="groupkey">

          <ADMIN_PRIV VALUE="Yes"/>
          <REMOTE_CONS_PRIV VALUE="Yes"/>
          <RESET_SERVER_PRIV VALUE="Yes"/>
          <VIRTUAL_MEDIA_PRIV VALUE="Yes"/>
          <CONFIG_ILO_PRIV VALUE="Yes"/>
          <LOGIN_PRIV VALUE="Yes"/>

        </ADD_FEDERATION_GROUP>

      </RIB_INFO>
    </LOGIN>
  </RIBCL>
```

---

## 注記:

1 つの iLO は、最大で 10 の iLO 連携グループに属することができます。iLO システムを iLO 連携グループから削除するには、**DELETE\_FEDERATION\_GROUP** を使用します。

---

## ADD\_FEDERATION\_GROUP のパラメーター

GROUP\_NAME - 追加するグループの名前。名前の文字数は 1~31 文字でなければなりません。

GROUP\_KEY - 追加するグループに対するパスワード。パスワードは、設定されている最小パスワード長 ~31 文字で指定できます。

ADMIN\_PRIV (管理者ユーザーアカウント) - グループのメンバーは、iLO ユーザーアカウントを追加、編集、および削除できます。

REMOTE\_CONS\_PRIV (リモートコンソールアクセス) - グループのメンバーは、ビデオ、キーボード、マウスの制御を含めて、ホストシステムのリモートコンソールにリモートからアクセスできます。

RESET\_SERVER\_PRIV (仮想電源およびリセット) - グループのメンバーは、ローカル iLO システムの電源再投入やリセットを実行できます。

VIRTUAL\_MEDIA\_PRIV (仮想メディア) - グループのメンバーは、ローカル iLO システムでスクリプト方式の仮想メディアを使用できます。

CONFIG\_ILO\_PRIV (iLO 設定) - グループのメンバーは、セキュリティ設定を含むほとんどの iLO 設定を行い、リモートからファームウェアを更新することができます。

LOGIN\_PRIV (ログイン) - グループのメンバーは、iLO にログインできます。

## ADD\_FEDERATION\_GROUP のランタイムエラー

表示される可能性のある ADD\_FEDERATION\_GROUP のエラーメッセージは次のとおりです。

- The GROUP\_NAME must not be left blank. (GROUP\_NAME の値は、空白にすることができません。)
- The GROUP\_NAME is too long. (GROUP\_NAME が長すぎます。)
- The GROUP\_KEY must not be left blank. (GROUP\_KEY の値は、空白にすることができません。)
- The GROUP\_KEY is too long. (GROUP\_KEY が長すぎます。)
- The GROUP\_KEY is too short. (GROUP\_KEY が短すぎます。) Use a longer key. (より長いキーを使用してください。)
- Group membership already exists. (グループのメンバーシップはすでに存在します。)
- Cannot add group membership. (グループのメンバーシップを追加できません。) Maximum number of memberships reached: 10. (メンバーシップの最大数 10 に達しました。)

## MOD\_FEDERATION\_GROUP

MOD\_FEDERATION\_GROUP を使用して、既存の iLO 連携グループのメンバーシップと関連する権限を変更します。必ず、コマンドを RIB\_INFO コマンドブロック内に示し、RIB\_INFO モードを write に設定してください。

---

### 注記:

すべてのパラメーターはオプションです。明示的に変更されていない iLO 連携プロパティは元の値のままとなります。

---

例 :

```
<RIBCL VERSION="2.0">
  <LOGIN USER_LOGIN="adminname" PASSWORD="password">

  <RIB_INFO MODE="write">

    <MOD_FEDERATION_GROUP GROUP_NAME="groupname">

      <GROUP_NAME VALUE="newgroupname"/>

      <GROUP_KEY VALUE="newgroupkey"/>

      <ADMIN_PRIV VALUE="Yes"/>

      <REMOTE_CONS_PRIV VALUE="Yes"/>

      <RESET_SERVER_PRIV VALUE="Yes"/>

      <VIRTUAL_MEDIA_PRIV VALUE="Yes"/>

      <CONFIG_ILO_PRIV VALUE="Yes"/>

    </MOD_FEDERATION_GROUP>

  </RIB_INFO>

</LOGIN>

</RIBCL>
```

```
<LOGIN_PRIV VALUE="Yes"/>

</MOD_FEDERATION_GROUP>

</RIB_INFO>
</LOGIN>
</RIBCL>
```

---

**注記:**

MOD\_FEDERATION\_GROUP は、iLO 5 の Web インターフェイスから利用できる拡張グループ権限をサポートするには改良されていませんでした。iLO 5 でのグループ権限の設定について詳しくは、HPE Information Library にある (<http://www.hpe.com/info/ilo/docs>) にある *HPE iLO 5 ユーザーガイド*を参照してください。

---

## MOD\_FEDERATION\_GROUP のパラメーター

GROUP\_NAME - 変更するグループの名前、または特定の連携グループに付ける新しい名前 (パラメーターの位置により変わる)。名前の文字数は 1~31 文字でなければなりません。

GROUP\_KEY - グループに設定する新規パスワード。パスワードは、設定されている最小パスワード長~31 文字で指定できます。

ADMIN\_PRIV (管理者ユーザーアカウント) - グループのメンバーは、iLO ユーザーアカウントを追加、編集、および削除できます。

REMOTE\_CONS\_PRIV (リモートコンソールアクセス) - グループのメンバーは、ビデオ、キーボード、マウスの制御を含めて、ホストシステムのリモートコンソールにリモートからアクセスできます。

RESET\_SERVER\_PRIV (仮想電源およびリセット) - グループのメンバーは、ローカル iLO システムの電源再投入やリセットを実行できます。

VIRTUAL\_MEDIA\_PRIV (仮想メディア) - グループのメンバーは、ローカル iLO システムでスクリプト方式の仮想メディアを使用できます。

CONFIG\_ILO\_PRIV (iLO 設定) - グループのメンバーは、セキュリティ設定を含むほとんどの iLO 設定を行い、リモートからファームウェアを更新することができます。

LOGIN\_PRIV (ログイン) - グループのメンバーは、iLO にログインできます。

## MOD\_FEDERATION\_GROUP のランタイムエラー

表示される可能性のある MOD\_FEDERATION\_GROUP のエラーメッセージは次のとおりです。

- The GROUP\_NAME must not be left blank. (GROUP\_NAME の値は、ブランクにすることができません。)

---

**注記:**

このエラーは、<MOD\_FEDERATION\_GROUP GROUP\_NAME="groupname">コマンドの値がブランクのままの場合にのみ発生します。このエラーは、パラメーター設定<GROUP\_NAME VALUE="newgroupname"/>の「newgroupname」がブランクのままか、その行が省略されている場合には表示されません。この場合、元のグループ名が維持されます。

---

- Group name not found. (グループ名が見つかりません。)
- The GROUP\_NAME is too long. (GROUP\_NAME が長すぎます。)
- The GROUP\_KEY must not be left blank. (GROUP\_KEY の値は、ブランクにすることができません。)
- The GROUP\_KEY is too long. (GROUP\_KEY が長すぎます。)

- Group membership already exists. (グループのメンバーシップはすでに存在します。)
- User does not have correct privilege for action. CONFIG\_ILO\_PRIV required. (ユーザーは、この操作を行うための適切な権限を持っていません。CONFIG\_ILO\_PRIVが必要です。)

## DELETE\_FEDERATION\_GROUP

DELETE\_FEDERATION\_GROUP を使用して iLO 連携グループメンバーシップから iLO を削除します。必ず、コマンドを RIB\_INFO コマンドブロック内に示し、RIB\_INFO モードを write に設定してください。

例：

```
<RIBCL VERSION="2.0">
  <LOGIN USER_LOGIN="adminname" PASSWORD="password">

    <RIB_INFO MODE="write">

      <DELETE_FEDERATION_GROUP GROUP_NAME="groupname"/>

    </RIB_INFO>
  </LOGIN>
</RIBCL>
```

### DELETE\_FEDERATION\_GROUP のパラメーター

GROUP\_NAME - 削除する iLO 連携グループの名前。名前は 1~31 文字にする必要があり、メンバーシップグループとして存在している名前である必要があります。

### DELETE\_FEDERATION\_GROUP のランタイムエラー

DELETE\_FEDERATION\_GROUP から返される可能性があるランタイムエラーは、次のとおりです。

- GROUP\_NAME に指定した値が既存のグループと一致しない場合 : Group name not found. (グループ名が見つかりません。)
- User does not have correct privilege for action. CONFIG\_ILO\_PRIV required. (ユーザーは、この操作を行うための適切な権限を持っていません。CONFIG\_ILO\_PRIVが必要です。)

# トラブルシューティング

## iLO 連携ページでクエリエラーが発生する

### 症状

iLO 連携ページを開いたときに、iLO ピアおよび関連付けられたデータがページに表示されないことがあります。次のエラーが表示されます。

Errors occurred during query, returned data may be incomplete or inconsistent. (クエリの実行中にエラーが発生しました。返されたデータが完全でないか、不整合がありません。)

### 原因

このエラーはネットワーク通信エラー、構成の問題、または障害が発生した iLO システムによって、iLO 連携グループ内のすべてのシステムからデータを取得できないときに発生することがあります。

### アクション

- 構成済みのマルチキャストアナウンスメント間隔の 2 倍待ってから、iLO 連携ページを更新します。  
iLO システムが再構成され、ローカル iLO システムと通信できない場合は、期限が切れた後でピア関係から削除されます。
- マルチシステムマップページのエラーを確認します。  
このページでは、iLO ピア間の通信の問題を識別することができます。
- BladeSystem エンクロージャー内のサーバーブレードを使用する場合、Onboard Administrator Web インターフェイスのエンクロージャー設定 > ネットワークアクセス > プロトコルページで、エンクロージャー iLO 連携サポートが構成されているか確認します。  
Onboard Administrator 4.11 以降では、この設定を構成していなければなりません。  
これは、エンクロージャー内のサーバーブレード間でのピアツーピア通信を許可するために必要です。
- ネットワーク内のスイッチが iLO ピア間で通信できるように構成されていることを確認します。
- iLO ピアのネットワークルート、サブネットマスク、IP アドレス、または HTTP ポートを変更した場合、ピアがローカル iLO システムへの通信パスを持っていることを確認します。
- ローカルの iLO システムとエラーが発生したピアとの間に通信パスが存在することを確認します。  
中間のファイアウォール、または iLO ネットワーク構成や HTTP ポート設定の変更により、ローカルの iLO システムとピア間の通信がブロックされる可能性があります。

## iLO のマルチシステムマップページにタイムアウトエラーが表示される

### 症状

マルチシステムマップページに、ローカル iLO システムのピアに対する Timed Out エラーが表示されません。

### 原因

このエラーは、次の状況で発生する可能性があります。

- ローカル iLO システムのピアに障害のあるピアがある。
- 中間のファイアウォールによってローカル iLO システムとピア間の通信が妨害されている。



- ・ ネットワーク構成の変更によってローカル iLO システムとピア間の通信が妨害されている。
- ・ ピアが搭載されているエンクロージャーが、iLO 連携をサポートするように構成されていない。

#### アクション

- ・ 障害が発生したピアを削除するか修復します。
- ・ ネットワークが iLO ピアの間で通信できるように構成されていることを確認します。
- ・ Onboard Administrator Web インターフェイスのエンクロージャー設定 > ネットワークアクセス > プロトコルページで、iLO サーバーブレードピアを含むエンクロージャーが iLO 連携サポートに構成されていることを確認します。

Onboard Administrator 4.11 以降では、この設定を構成していなければなりません。これは、エンクロージャー内のサーバーブレード間でのピアツーピア通信を許可するために必要です。

## iLO マルチシステムマップページに 502 エラーが表示される

#### 症状

マルチシステムマップページで 502 エラーが表示されます。

#### 原因

一覧表示されているピアがローカル iLO システムからの要求を拒否しました。

#### アクション

1. ローカルの iLO システムとエラーが発生したピアとの間に通信パスが存在することを確認します。  
中間のファイアウォール、または iLO ネットワーク構成や HTTP ポート設定の変更により、ローカルの iLO システムとピア間の通信がブロックされる可能性があります。

## iLO マルチシステムマップページに 403 エラーが表示される

#### 症状

マルチシステムマップページで 403 禁止/認証エラーが表示されます。

#### 原因

ローカル iLO システムのグループキーとピア iLO システムのグループキーが一致しません。

#### アクション

1. 選択したグループのメンバーになっているすべての iLO システムのグループキーが一致することを確認してください。

## iLO ピアが iLO 連携ページに表示されない

#### 症状

iLO ピア（ローカル iLO システムと同じグループ内のシステム）が iLO 連携ページに表示されていません。

#### アクション

- ・ 選択したグループのメンバーになっているすべての iLO システムのグループキーが一致することを確認してください。
- ・ 構成済みのマルチキャスト間隔の 2 倍待ってから、iLO 連携ページを更新します。

iLO システムが再構成され、ローカル iLO システムと通信できない場合は、期限が切れた後でピア関係から削除されます。

- エンクロージャー内のサーバーブレードを使用する場合、Onboard Administrator Web インターフェイスのエンクロージャー設定 > ネットワークアクセス > プロトコルページで、エンクロージャー iLO 連携サポートが構成されているか確認します。

Onboard Administrator 4.11 以降では、この設定を構成していなければなりません。これは、エンクロージャー内のサーバーブレード間でのピアツーピア通信を許可するために必要です。

- ネットワーク内のスイッチが iLO ピア間で通信できるように構成されていることを確認します。
- ローカルの iLO システムとエラーが発生したピアとの間に通信パスが存在することを確認します。

中間のファイアウォール、または iLO ネットワーク構成や HTTP ポート設定の変更により、ローカルの iLO システムとピア間の通信がブロックされる可能性があります。

## iLO のピアが、IPv4 ネットワーク上で IPv6 アドレスで表示される

### 症状

IPv4 ネットワーク上の iLO ピアが iLO 連携ページに IPv6 アドレスで表示されます。

### アクション

- iLO 専用ネットワークポート IPv6 ページの iLO クライアントアプリケーションは IPv6 を最初に使用チェックボックスが選択されていないことを確認します。

# Web サイト

## 全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<http://www.hpe.com/info/EIL>

上記以外の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

## 製品の Web サイト

iLO 5

<http://www.hpe.com/support/ilo-docs>

iLO ライセンス

<http://www.hpe.com/info/ilo/licensing>

iLO Advanced

<http://www.hpe.com/servers/iloadvanced>

iLO Mobile アプリケーション

<http://www.hpe.com/info/ilo/mobileapp>

アクティブヘルスシステムビューア

<http://www.hpe.com/servers/ahsv>

HPE ProLiant Gen 10 および HPE Synergy コンピュートモジュールのトラブルシューティング

<http://www.hpe.com/info/Gen10-troubleshooting>

UEFI システムユーティリティ

<http://www.hpe.com/info/ProLiantUEFI/docs>

SUM

<http://www.hpe.com/info/sum-docs>

SPP

<http://www.hpe.com/info/spp/documentation>

Intelligent Provisioning

<http://www.hpe.com/info/intelligentprovisioning/docs>

iLO RESTful API および RESTful インターフェイスツール

<http://www.hpe.com/info/redfish>

リモートサポート

<http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>

OA

<http://www.hpe.com/support/oa/docs>

HPE SIM

<http://www.hpe.com/info/insightmanagement/sim/docs>

# サポートと他のリソース

## Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/assistance>

- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

### ご用意いただく情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

## アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<http://www.hpe.com/support/downloads>

### Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates>

- お客様の資格を確認および更新して、契約および保証をプロフィールにリンクするには、次に示す Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

### ❗ 重要:

一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品の製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

## カスタマーセルフリペア（CSR）

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア（CSR）プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

## リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

### リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

#### HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

#### HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

#### HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

#### HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts>

## 保証情報

ご使用の製品の保証またはサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報に関するドキュメントを確認するには、「エンタープライズの安全性、規制への適合」の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

### 追加保証情報

#### HPE ProLiant と x86 サーバーおよびオプション

<http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

#### HPE エンタープライズサーバー

<http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

#### HPE ストレージ製品

<http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

#### HPE ネットワーク製品

<http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

## 規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

## 規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/environment>

## ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 ([docsfeedback@hpe.com](mailto:docsfeedback@hpe.com)) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。